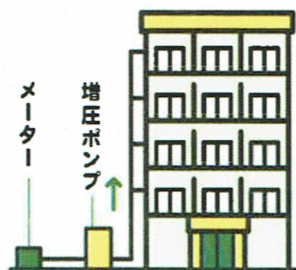


災害時、マンション内で何が起きるのか

災害時に事前に備えた防災対策をより実効性のあるものにするために、まずは居住者の皆さまに自分たちの住んでいるマンションの防災を「自分ごと」にしてもらうことがとても大切です。

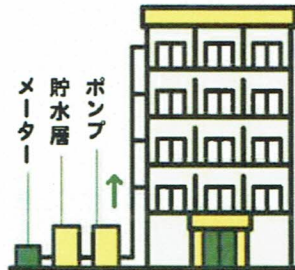
停電や断水など、マンション内で起こるトラブルとそれらへの対策についてご紹介します。

断水するとマンションはどうなる??



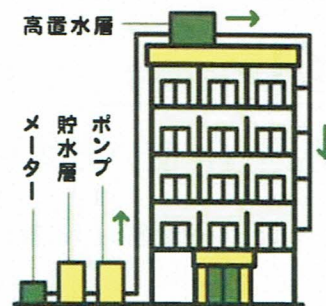
直結増圧式給水(水道直結方式)

- ・停電時でも水圧で3階くらいまでは水がでる。
- ・地震で給水管が破損した場合は、給水が絶たれる。



貯水槽式給水(ポンプ直送方式)

- ・停電時は、給水が絶たれる。
- ・地震で給水管・貯水槽が破損した場合、給水が絶たれる。
- ・貯水槽が破損した場合、電気が回復しても貯水槽を修理しなければ使用できない。



貯水槽式給水(高置水槽方式)

- ・停電時は、給水が絶たれる。
- ・地震で給水管が破損したり、停電したりしても高置水槽に貯水されている分の水は一時的に使用できる。
- ・屋上の高置水槽が破損した場合、電気が回復しても高置水槽を修理しなければ使用できない。

管理組合として
できること

下記のことを事前に決め、居住者に周知しましょう。

- ・マンション全体として水の確保をどうするか(設備/備品)
- ・上層階への水の運搬方法、要支援者への水の配布方法
- ・災害後の水道使用ルール(給水管の無事が確認できるまでは使わない等)

断水に関する取り組み事例

■水運搬ワークショップ

防災訓練等を利用して、停電などでエレベーターが使えない場合を想定した「階段を使った水の運搬方法」を体験します。いくつかの容器や運び方を用意しておき、どの方法が有効か検討しておくとい良いでしょう。

例:ポリタンク、ポリ袋、バケツ、台車、リュック等

【実施方法】

- ・水の入った容器を持ち、実際にマンション内の階段を上ったり下りたりしてみる。

※実施後、必要な対策(上層階への水の配布方法や必要な道具など)について検討していきます。



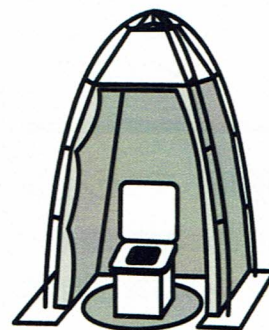
トイレはなる??

停電で給水ポンプがストップ、もしくは断水により流す水が供給されません。
また、排水管に破損個所があった場合、汚水がマンション内のどこかで漏水する可能性もあります。

管理組合として
できること

対策：マンホールトイレや簡易トイレの備蓄
下記のことを事前に決め、居住者に周知しましょう。

- ・排水管の確認方法(誰が、どのように)
- ・災害後のトイレ運用ルール(使用不可、再開のタイミングやその周知方法)



トイレに関する取り組み事例

■簡易トイレ使い方体験

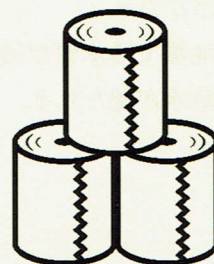
マンホールトイレや簡易トイレを備蓄しているマンションは、その設置方法や使い方を体験します。

【実施方法】

- ・マンホールトイレを実際に設置してみましょう。
- ・水やにおいのある食材などを入れ、簡易トイレの使い方や使い勝手を確かめてみます。
※実施後、必要な対策(不足備品やトイレルールの周知方法)について検討していきましょう。

【準備するもの】

- ・簡易トイレ(備蓄されているものがあれば活用、なければ複数購入)
※共用トイレがあれば活用し、なければ段ボールなどを簡易便器とする
- ・マンホールトイレ(備蓄されている場合)



マンションでの防災訓練 企画のポイント

多くのマンションの防災訓練は、「参加者がなかなか集まらない」という課題を抱えています。
それを打破するポイントは、……「楽しくすること」。とつきにくい「防災」だからこそ、誰もが楽しめる工夫を盛り込み、敷居を下げる必要があります。

マンションにより違う防災設備をまわる、『防災設備ツアー』なども興味を持っていただきやすい防災訓練です。

居住するマンションでも実際に防災設備を知る機会はなかなかありません。

集会室や防災倉庫などの施設について災害時にどのように利用するのか改めてツアー形式で確認するのも有効です。日頃から用途を理解しておくことで災害時の混乱抑制につながります。

防災用品に関してのご相談は、弊社営業担当者までお問い合わせください。



CommunityOne